

2023 年 2 月 3 日 第 3418 回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
- <斉 唱> 「君が代」「我等の生業」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
- <唱 和> 「四つのテスト」
- <ゲスト紹介> *米山奨学生 王 冠 博 様
- <誕生月祝> *上 林 茂 (S. 6. 2. 1) *木 村 一 郎 (S. 45. 2. 5)
 *鈴木 隆 裕 (S. 45. 2. 6) *鈴木 康 仁 (S. 26. 2. 7)
 *八 木 達 也 (S. 41. 2. 10) *齋 藤 隆 (S. 23. 2. 11)
 *浅 葉 孝 己 (S. 29. 2. 13) *大 石 朗 (S. 30. 2. 21)
 *江 口 浩 道 (S. 36. 2. 21) *E. Rogers (S. 33. 2. 25) 各会員
- <入会月祝> ・小 沢 一 彦 ・北 村 理和子 ・高 橋 隆 一 各会員
 ・瀬 戸 映 男 ・小保内 洋 子
- <会 長 報 告> *長尾和典会員より米山記念奨学会への寄付の報告
- <委員長報告> *雑誌委員会 岩崎委員よりロータリーの友2月号
 *出席委員会 鈴木 豊 委員長より1月出席報告 1月分平均出席率 70.67%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
1月 6日	115名	107名	78名(5名)	29名	4名	76.64%
13日	115名	100名	51名(名)	49名	6名	57.00%
20日	115名	105名	69名(2名)	36名	7名	72.38%
27日	115名	107名	80名(7名)	27名	2名	76.64%

*ローターアクト委員会 角井副委員長よりローターアクト地区大会 報告

- <幹 事 報 告> *第7回理事役員会 報告
 *ロータリー米山記念奨学会より確定申告用領収書 受領
 *抜粋のつづり その八十二 受領
 *週報・・横須賀北RC/横須賀西RCより受領

<出 席 報 告> *出席委員会 鈴木 豊 委員長より2月3日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
114名	100名	73名(5名)	27名	6名	79.00%

<ニコニコ報告>

- ・高 橋、植 田、八 巻、木 村、小山(働)、新倉(働)、鈴木(働)、松 岡、澤 田、齋藤(働)、小山(働)、中村(働) 各会員
 米山奨学生 王冠博様、ようこそお越し下さいました。本日の例会もごゆっくりお過ごし下さい。
- ・米山奨学生佐久間カウンセラー 米山奨学生 王冠博さん国家試験無事終了して良かったですね。発表までの1カ月間はゆっくり休んで下さい。
- ・上 林、木 村、鈴木(働)、八 木、齋藤(働)、浅 葉、大 石、江 口、Enora 各会員 誕生月祝いとして
- ・北 村、高 橋、瀬 戸、小保内 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 本日は第2回クラブ協議会です。各委員長の皆様、発表をよろしくお願いいたします。
- ・高 橋、大野(働)、八 巻、立 石、長谷川、南、石 田、勝 間、福 西、永 井、田 村、松本(働)、江 口、杉 浦、小 平、吉 田、田 中、猿 丸、上 林、岩 崎、浅 葉、徳 永、澤 田、齋藤(働)、田 邊、杵 淵、笠 木、齋藤(働)、児 玉 各会員
 本日の第2回クラブ協議会 三役、各委員長の皆様、報告を宜しく願います。
- ・植 田、椿、比 護、梁 井、中村(働)、加藤(働)、鷺 尾、

渡 邊、濱 田、白 井、小林 (-)、中村 (田)、Enora、兼 城 各会員

第2回クラブ協議会、中間報告をします。残り5カ月会員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・7番テーブル北村マスター、大石サブマスター 去る2月1日(水)にセントラルホテル9階「日本料理あら井」で7番テーブルミーティングを開催しました。前田会長をはじめ、長尾副会長、瀬戸幹事、兼城SAA、角井副SAA、三宅さんにご参加頂き、美酒佳肴をいただきました。時間の経つのも忘れ、楽しい一時を過ごすことができました。ご出席いただいた皆様ありがとうございます。セントラルホテル専務の倉島会員には、いろいろとお心遣いいただき感謝申し上げます。
- ・吉 田、田 中、小保内、物 井、角 井、兼 城 各会員
2月1日(水)7番テーブルミーティングをあら井で開催しました。美味しいお料理とお酒を堪能し楽しいひと時でした！北村マスター、大石サブマスター、セントラルホテル倉島会員お世話になりました。
- ・北 村、岡田 (儀)、植 田 各会員 1月13日の情報集会、その後のファシリテータに就いて頂いたパスト会長等のご示唆、ご指導ありがとうございました。クラブビジョンの戦略計画(案)が、作成出来ました。
- ・北 村、岡田 (儀)、植 田 各会員 本日の理事役員会にクラブビジョン戦略計画(案)を提案させていただきました。理事役員会でのご承認をいただきました。
- ・瀬 戸 会員 孫(娘の次女)が中学入試で桜蔭中学校に合格いたしました。ありがとうございます。
- ・前 田 会長、瀬 戸 幹事 今月も会員皆様のニコニコご厚志をお願い致します。

<卓 話>

第 2 回 ク ラ ブ 協 議 会 (中間報告)

1. 前田 長生 会長

2022-23年度クラブ会長の中間報告を行います。会員増強維持活動では、退会1名・入会1名で現在の会員数は男性100名・女性15名の計115名となっています。クラブ奉仕活動では8月19日(金)ローターアクトとの合同例会を三笠桟橋で点鐘し、懇親会はスマートな客船で東京湾クルージングを楽しみました。評判の中華料理を食べ、親睦委員会の演出によるハワイアンナイトでアロハシャツとレイを纏い、八木会員のウクレレ演奏とハワイアンソングを聴き、最後にジョン・レノンの「イマジン」を合唱して、今年度国際ロータリーのテーマである「イマジン・ロータリー」を讃えました。今年度最初の行事は、大変に楽しく終わりました。10月29日(土)30日(日)に23名の会員親睦旅行で山形県を訪れました。高島ワイナリーでワインを試飲し、その出来の良さに驚きました。ブドウ狩りを楽しんで湯殿山に向かい、裸足でお祓いを受け、撮影禁止のご神体を有難く拝み、全員が生まれ変わって下山しました。この日は名物シェフのイタリアンの店で庄内地方の食材を使った夕食を楽しみ、鶴岡の夜の街を堪能しました。翌日は羽黒山を訪れて、谷合に佇む国宝の五重塔に息を呑み、最上川を舟で下りながら山形の冷酒で昼食を摂り、兩岸の紅葉と自然を楽しみました。酒田の米蔵のケヤキ並木を散策し、世界で唯一のクラゲ水族館を訪れて、帰路に着きました。多勢での旅行は、本当に楽しい思い出となりました。12月23日(金)は年忘れクリスマス家族会でした。元町のビッグバンドを迎えて、華やかな楽しい夜を過ごしました。社会奉仕活動では、9月30日(金)に市役所前公園で「ピンクリボンよこすか2022」を開催しました。ライトアップ式典では市長の挨拶の後、三浦高等学校吹奏楽部の演奏で式典は盛り上がり、市庁舎壁面のライトアップにより歓声が上がりました。この日は、バス検診や自己検診指導・チャリティーグッズの販売を行い、収益金はすべてピンクリボンかながわに寄付をしました。11月18日(金)は夜間情報集会「奉仕の基金コンペティション」を開催しました。出席会員全員による厳正な審査の結果、横須賀市内の奉仕団体である障がい児のスポーツ活動を支援している「FUN PLACE 39」、食品ロスの削減と食品の無料支援を行っている「NPO神奈川フードバンクプラス」、子ども食堂の拡大を企画している「横須賀猫部」、子供と若者に共同スペースを提供している「NPOプラットフォーム」、世代を超えた「横須賀みんなのカレー食堂」の5団体に総額100万円の支援金を支給しました。来る6月9日にその結果報告会を行います。また年度初めから毎月の第2・第4例会

では障がい者支援活動としてクッキーや小物入れなどの作品を販売し、好評を得ています。国際奉仕活動では、9月18日(日)～9月25日(日)にフィリピン・セブ島でのVTT活動を3年ぶりに再開し、久保田会員以下6名の医師団を派遣して、口唇口蓋裂23人の子供たちの手術治療と現地医師への技術指導を行いました。10月23日(日)はポリオ根絶の街頭募金活動を第1グループ全体で行い、20万円以上の募金を地区本部に送りました。11月27日(日)は私以下4名でセブロータリークラブの90周年記念式典に参加し、感動を受けてきました。青少年奉仕は8月19日(金)にローターアクトとの船上合同例会、11月23日(水)にインターアクトの年次大会を主催三浦学苑高等学校の世話クラブとして開催しました。米山奨学会活動では、今年度は神奈川歯科大学6年生の王冠博君の世話クラブを引き受けています。以上が、主な年度前半の活動状況についての報告です。コロナ前のクラブ運営を再開しようと、テーブルミーティングの開催には抗原検査を義務付けたり、例会の食事では会話を控えて頂いたり、会員の皆様には様々な多くのご協力をお願いしました。結果として、すべて滞りなく、皆様とともにクラブを運営出来たことが、私の年度前半の最大の収穫であると思っております。今後、年度後半となる行事と奉仕活動にも、一層のご支援ご協力を賜りますようお願いして、年度の中間報告とさせていただきます。

2. 会計 鷲尾 精一 会員

収入につきましては、概ね予定通り推移しております。ニコニコにつきましては、皆様のご協力で前年度に比べ70万円ほど増えており順調です。支出につきましては、昨年に比べ例会が順調に開催されている為、総務費については、前年比95万円ほど増えております。事業費は各委員会増額しており、前年比クラブ管理運営委員会19万円、プログラム/広報・公共イメージ委員会19万円、奉仕プロジェクト委員会120万円、新世代で33万円増えておりますが、すべて予算内で活動しております。後半も収入と支出のバランスを取りながらのクラブ運営が望まれます。日頃の皆様のご理解に感謝申し上げますとともに、今後につきましても変わらぬご協力の程お願い申し上げます。

3. SAA 兼城 毅 会員

年度当初に注力するとした3点の振り返りを報告いたします。

1) 円滑な例会運営に向け会場の準備

例会準備は三役をはじめ、事務局三宅さん、梁井デジタルIT委員長、角井副SAAと綿密に情報交換を行い、会場準備を行っています。またゲスト、ビジターのお迎えにも椿親睦委員長はじめ親睦委員会の皆様方にご協力を頂き滞りなく進められています。

2) テーブル分け

コロナ禍による会員間のコミュニケーション不足が続いた背景もあり、テーブルは超ベテラン、中堅、入会5年未満会員の3層に分け、会員間のコミュニケーションの活性化や横須賀ロータリークラブの歴史などの共有をして頂きたいと考えたものです。

3) ニコニコBOX

今期目標350万円に対し、1月末時点2,357,千円(67%)、対前年+828,千円と順調に進捗しています。これは会員皆様からの多大なご厚意であり大変感謝申し上げます。引き続きご理解を頂けるようなニコニコBOXの準備をします。

最後になりますが、会員皆様が居心地良く、楽しい例会場になるよう努めます。引き続き宜しくお願いいたします。

4. 副会長兼クラブ管理運営委員会担当 長尾 和典 会員

今年度はコロナに対して、最大限の注意をはらいながら、例会はすべて、従来の商工会議所301号室で開催いたしました。また、初期のテーブルミーティングや船上例会(8月19日)は参加者全員の抗原検査を事前に行い、陰性者のみご参加頂きました。今年度は前田会長の強いリーダーシップのもと、横須賀ロータリークラブで初めて「ピンクリボンよこすか(9月30日)」、「奉仕の基金コンベンション(11月18日)」を開催しました。また、親睦旅行会「山形県鶴岡市(10月29日、30日)」も久しぶりに開催いたしました。また、年末のクリスマス家族会(12月23日)も3年ぶりにご家族を交えての開催をいたしました。これら

の行事や例会の開催にあたり多くの会員の皆様にご尽力、ご支援、ご協力頂きました事、あらためて感謝申し上げます。

5. 会報委員長 比護 友一 会員

今年度の週報に関しては、会報委員メンバーの皆様、副委員長、三宅さんのお陰で順調に遅れなく発行出来ていると思います。本当に感謝をしています。半年過ぎての私の感想です。週報はどちらかと言えば会員向けで、様々な例会内容を他の人にも周知するにはSNSを利用し、卓話の動画配信をHP上で行うなどを外部への発信をもっと行うべきだと思います。ただ、会報委員会は毎週毎週の週報つくりには手一杯になってしまい、その他の事を全く出来ないのが現状です。その役割を他の委員会が担当するか、会報委員会が担当するなら週報をもっと簡素化して外部への発信に赴くのが良いと思います。そして今回の中間報告の原稿も週報作成の為に協力をお願い致します。

6. 雑誌委員長 臼井 健 会員

半年間を振り返り、委員会メンバーの方に各月で発表しました。委員会メンバーの方々はとても分かりやすく発表をして頂きましたが、私の発表の時は、活舌が悪く皆様にお聞き苦しい時があったかと思えます。ロータリーの友を読みますと、各クラブの取り組みが色々と有りすごく勉強になります。残り半年間は皆様により分かりやすく、簡潔に発表していきたいと思っております。

7. 出席委員長 鈴木 豊司 会員

出席率の決して高くない私に課せられた出席委員長という任務は、ロータリーについて考え学ぶ良い機会となっております。ところで今年度は「出席」というキーワードを介し会員の皆様とお話する中で、各会員が様々なお考えの下でロータリー活動に参加されているのだと改めて実感しています。その様な中「出席は権利でもあるんだよ！」とのお言葉を頂き、日頃から義務感に駆られていた中、妙に腑に落ち気が楽になる瞬間に出会いました。例会欠席が重なると「出るのが億劫・・・」どなたにもご経験があるのではないのでしょうか。「やあ」と言おう「おい」と呼ぼう」例会に出れば、素敵な時間を誰もが共有出来る。そんな倒会の雰囲気を蔭で作り上げる事が、プログラムの構成以上に出席率向上へ一番寄与するのかな？そう思っています。例会ご出席の際には多くの会員、またビジターの皆様にも積極的にお声がけを頂き、皆が例会に引き寄せられる、来たくなる！そんな温かな雰囲気を皆で醸成出来ましたらと思います。

8. 親睦活動委員長 椿 和香 会員

親睦委員会の中間報告をさせていただきます。8月のローターアクトとの合同例会のクルージング、10月の山形への親睦旅行会、12月の年忘れ家族会という大きな行事を皆様のご協力のもと、無事に終えることが出来ました。残すところ、大きな行事としては3月の京都旅行を予定しております。こちらも1人でも多くの皆様にご参加頂けたら幸いです。また、毎週の例会では当番の方以外の委員会メンバーも忙しい中、早くから例会のお手伝いに入って頂いております。会員、委員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

9. プログラム委員長 濱田 恵里 会員

例会の卓話プログラムに関しましては、会長・副会長・幹事と連携して、地区や他のクラブの情報を伺ったり、横須賀に縁のある方また広い意味で福祉に携わっている方達の卓話をお願いしてまいりました。残りの期間も会員の皆様にとって有意義で楽しい卓話を心がけてまいりますので、引き続き会員の皆様からのご助言ご協力を宜しく願いいたします。

10. 広報・公共イメージ委員長 中村 清乃 会員

広報・公共イメージ担当の今年度これまでの活動として昨年9月30日のピンクリボンよこすか、10月23日のエンドポリオ募金活動をタウンニュースやジェイコムのテレビ放送、第2780地区のfbアカウントを使い内外にお伝えしました。また昨年11月の奉仕の基金コンペティションは目録贈呈式をタウンニュースに掲載すると共に各団体の活動は順次テレビ取材することにしており、先日1月29日(日)にフードバンクプラスの食糧配賦会を取材し、その様子は来週2月11、12日で放送予定です。引き続き横須賀ロ

ロータリーで初めて行なった・奉仕の基金プロジェクトの認知度向上も兼ねて各団体取材します。これから実施予定のイベントについてもこれまで同様、新聞、放送、SNSと様々な媒体を活用しロータリーの認知度とイメージ向上に努めて参ります。以上、中間報告といたします。

11. デジタルIT委員長 梁井 康市 会員

デジタルIT委員会は、例会のZoom配信を中心に活動して参りました。このZoom配信は、例会会場での音声、映像そのものの管理も含むことから、重要な役割となっておりますが、残念ながら予期せぬハプニング等もありトラブルを撲滅出来ておりません。今後、不具合頻度を最小化すべく、皆様からのご助言を伺いながら改善を進めるとともに、これまでに得られた知識／経験を踏まえたマニュアルの整備を進めて参ります。また、QRコードを用いた出席登録につきましては、皆様のご協力により軌道に乗って運用中です。どうもありがとうございます。今後も、デジタルIT委員会はクラブの運営に貢献出来るデジタル技術を積極的に取り込んでいきたいと思っております。

12. ロータリー情報・研修委員長 北村 理和子 会員

今年度のロータリー情報・研修委員会は先日の1月13日夜間例会の1回のみですが、会員皆様には、クラブ中期ビジョンの趣旨に基づき更なる具体的な奉仕活動とは、「今求められる活動へと進化するには何が必要か」という事で活発な意見交換が行われました。横須賀ロータリークラブは五大奉仕活動を起点に奉仕活動に邁進してまいりました。この歴史ある活動が更に発展し、活力あるクラブとして会員皆様がロータリーを楽しんで頂けるように委員会は努めて参ります。又、今後の委員会活動としては、入会3年未満の会員への新会員情報セミナーを4月に開催致しますのでご参加宜しくお願い致します。

13. 職業分類委員長 渡邊 磨 会員

職業分類委員会では、職業分類の役割を十分考慮し、時代に沿った事業及び専門職の環境に合わせた適正分類を行って参りました。上期では松岡会員のご入会により、職業分類表の未充填分野でありました大学教員を充填することができ、クラブに相応しい方の入会への取り組みがしっかりとされてきております。下期も引き続き適正分類に努めて参ります。

14. 会員選考委員長 山田 晴史 会員

今年度は現在まで、三役及び会員増強・会員維持委員会の結束力と行動力のお陰で、最初に掲げました(1)人格、資質を十分に備える人(2)事業所の健全な経営者であるとともに、その事業所を代表して発言できる人(3)会員として財政的負担を果たし、例会に率先して出席できる人(4)協調性のある明るい人全てを持ち合わせた新会員を推薦して頂き、選考委員会として確認をさせて頂きました。本日も2名の確認をさせて頂きました。今年度はまだまだ計画的に増強がおこなわれていると聞いておりますので会員増強・会員維持委員会、職業分類委員会のお力を借りながら後半も活動させて頂きます。

15. 会員増強・会員維持委員長 小林 一博 会員

毎月第一例会後に委員会を開催し、そこで勧誘候補者のリストアップと見込状況等の確認を行って参りました。また、ピンクリボン活動イベントや初めて開催したオープン例会に勧誘候補者をご招待させて頂いたこと、横須賀ロータリーの活動の一部をお伝えすることが出来ました。今年度114名から始まりましたが、11月に松岡会員が入会して、現在115名の会員数となっております。今後は現在勧誘を進めている方々に横須賀ロータリーの魅力を伝えるとともに、積極的に入会を勧める活動を強化していきたいと考えております。会員の皆様におかれましては、ご推薦者がいらっしゃいましたら、是非ご勧誘またはご紹介をお願い申し上げます。

16. 職業奉仕委員長 八木 達也 会員

今年度は3年ぶりに横須賀学院中学校3年生の職業体験を実体験としてリアル開催することが出来ました。先週の1月25、26日でご協力を頂きました事業所の皆様には心より感謝申し上げます。12月に行われた職場体験前のガイダンスでは田中由紀子会員の素晴らしい講話があり、感激した生徒が何名か個別の質

問に残るとい一幕も見られました。その中でプロ野球選手志望の生徒には「君が本気なら、私も本気で出来ることをしてあげるよ」と何と後日、千葉ロッテマリーンズの現一軍コーチ大塚明さんを横須賀学院に連れて行き、生徒の相談を直接聞いたということで、教頭先生からお礼のメールが来ました。田中由紀子会員のアスリートネットワークの凄さを知った事と、本気の子どもへの本気の指導とはこういうものなのかと勉強をさせて頂きました。今年度、委員会としては職場見学会を4月21日例会後に予定しております。ご参加を宜しくお願い致します。

17. 社会奉仕委員長 加藤 淳 会員

今年度は従来の「ポリオ根絶募金活動や10000メートルプロムナードクリーン作戦」に加え、地域社会の皆様との絆を育み、地域の発展とSDGs 貢献を目指した新たな社会奉仕の試みとして、コロナ禍の影響で様々な販売機会が失われている「障がい者支援事業所の皆さんが作ったお菓子や工芸品」等を例会前に即売会を上半期で8回開催し、17万円の売上に貢献致しました。会員の皆様には本当にご理解・ご協力頂き感謝申し上げます。また、10月に開催しました「ポリオ根絶募金活動」では第1グループ一体的な取組みで募金エリアも三浦市まで拡大して募金総額22万円を超える成果となりました。下期も毎月2回の即売会に加え、3月には10000メートルプロムナードクリーン作戦も開催致します。

18. 国際奉仕委員長 新倉 良是 会員 (欠席)

昨年12月10日、地区の社会・国際奉仕委員会研修会に参加し、他クラブの会員の方々との意見交換を行うことで、当クラブの今後の方向性を考える切っ掛けになりました。また、昨年度に引き続きコロナウイルス感染拡大のため活動すること自体がなかなか難しいので、今年度の残りの期間と来年度以降の事業計画を検討して行きたいと思えます。

19. 青少年奉仕委員長 物井 宏介 会員

大きな変更としてはローターアクト・クラブが国際ロータリーの新たなクラブとして自立をする立場になった事です。これは会員増強の手段とするのではなく、若い世代の発想力、例えばメタバースミーティングなどがこれからのロータリーに活力を与えてくれると思えます。当クラブでは地区大会を成功させました、三浦学苑インターアクトへの人的流れを今後とも続けて頂ければと思えます。

20. ローターアクト委員長 E.Rogers 会員

ローターアクト・クラブは、興味深い一年でした。自立したクラブになるために動いています。私は向陽会長と定期的に会合を持ち、情報交換とリーダーシップのサポートをしてきました。今年は、ローターアクトの例会にロータリー会員が直接参加することは少なく、ローターアクターに自立の機会を与えたいと思ったからです。新入部員を数名獲得し、現在10名の部員がいます。また、ローターアクトの地区委員会や行事にも積極的に参加しています。向陽会長は、ローターアクト地区委員会にも積極的に参加しています。向陽さんは、地区委員会の連絡にグーグルクラスルームを使うことを提案しました。地区委員会はその使用に同意しました。10月と1月には、会員が地区行事に参加しました。親睦活動では、10月に斎藤先生主催の素晴らしいピザパーティーがありました。このパーティーには、相模原ローターアクト・クラブと横須賀ロータリアンの特別ゲストが参加しました。また、12月の横須賀ホリデーミーティングには、数名のローターアクト会員が参加しました。2月からは、次年度のロータリーの計画を立てる予定です。7月からの会長に望月さんが選出されました。

21. インターアクト委員長 鈴木 之一 会員

本年度10月に地区大会において新世代交流会に参加、11月には三浦学苑高等学校をホスト校として年次大会が開催されました。佐藤ガバナーを始めとする65名のロータリアンと103名のインターアクター、顧問教諭、ローターアクターのご協力のもと盛大に開催されました。また、台湾研修の代替としてインターアクト国内研修を香川県今治市にて国際ロータリー第2590地区と共に二泊三日で実施。現地IACやRCとの交流を行い実りある研修を実施。また、3月には三送会を兼ねた研修を箱根で実施いたします。

22. ロータリー財団委員長 中村 正 会員

年次寄付では、大口寄付を含め3名の会員より合計13,500ドルをR1に送金済。会員の皆様から頂いている会費納入時の寄付10,000円(第二期分)を2月中に送金予定しております。ポリオに関しては昨年10月23日に開催したポリオ根絶街頭募金での寄付766ドルが送金済です。

奨学生関係では、ロータリー財団奨学生として昨年合格した2名(山下エレナさん・喬博軒さん)は現在もそれぞれの大学で勉学に励まれており今年帰国の予定です。

23. 米山奨学委員長 小山 美智恵 会員

今年も台湾からの留学生、神奈川歯科大学の王冠博さんをお世話クラブとしてお預かりしております。堪能な日本語での9月の卓話では台湾の歴史と日本との関係、そして今後もより友好的な関係を築く懸け橋になりたいという言葉に強い意志を感じました。皆様からの大切な寄付により、彼が国際社会で活躍し、ロータリーの目指す国際親善と世界平和推進という先人の強い願いを継承する事業にしたいと思っております。王さんは米山の活動にも積極的に参加して頂いておりますが、より一層会員の皆様とのコミュニケーションが取りやすく、また例会等で楽しんで頂けるよう、一緒に役割を担うなどの提案もしていきたいと思っております。また、8月に予定されている茨城の世界大会も盛り上げていきたいと考えておりますので、皆様のお力添えに感謝すると共に引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

24. VTT特別委員長 山下 和男 会員 (欠席)

2022年9月18日から9月24日まで、フィリピンセブロータリークラブと協力して、VTT活動をしてまいりました。この活動は皆様ご存じのとおり、フィリピン国セブ島において口唇口蓋裂の治療および治療方法を伝える職業訓練プロジェクトとなります。この活動の資金は、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援する目的の基金、グローバル補助金を利用しております。9月18日から9月24日の期間に当クラブ前田会長・藤村会長エレクト・久保田会員・齋藤眞旦会員・E.Rogers 会員の皆様がプロジェクト遂行のため現地フィリピン・セブにて色々な活動を行って頂きました。セブでの活動にお忙しい中参加された会員の皆様、本当に有難うございました。本プロジェクトは当初2018年から3年間のプロジェクトでの計画でありましたが、新型コロナウイルスの影響で2018年に活動した後活動が見合されておりました。今年度活動が再開され活動は2年目となり、来年度も活動を行う予定でございます。今後も本プロジェクト遂行のため、会員の皆様のご指導ご協力お願い申し上げます。

25. 中期ビジョン特別委員長 植田 威 会員

中期ビジョンはクラブのあるべき姿を明文化したものです。換言すれば、“持続可能なクラブの方向性”を示したものです。“魅力ある・活力ある・個性ある”クラブとしての成長目標がクラブビジョンです。同時に、クラブで定期的に自己点検・自己評価、必要に応じて改定されるものです。横須賀ロータリークラブの中期ビジョンは、「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪を広げ、豊かな魅力ある社会を育てる。」です。今年度、前田会長から中期ビジョンの達成に向けた行動計画であります戦略計画を策定するようにとのご指示を頂いております。本年1月13日の情報集会のグループディスカッションにおきまして、歴代会長にファシリテータに就いて頂き、戦略計画について意見交換を行って頂いたところです。五大奉仕活動に取り組むにあたり、会員の皆様から多様なご意見をお寄せいただきました。グループディスカッションでのご意見を踏まえ、ロータリー情報・研修委員会と連携し、戦略計画(案)を作成し、あらためてファシリテータの方々と交えた会議を設けさせて頂き、戦略計画(案)の確認・更新を行いました。本日、中期ビジョン戦略計画(案)を、理事役員会にご提案させて頂きました。皆様のご協力のお陰で、戦略計画(案)をご承認頂きましてありがとうございます。クラブでの承認に向けて次々回の例会で戦略計画(案)をご報告して下さい。中期ビジョンの実現に向けて引き続き努めてまいります。会員の皆様のご指導・ご助言をよろしくお願い致します。

26. 幹事 瀬戸 映男 会員

あっという間の7ヶ月でした。前田会長の掲げるクラブ活動方針に則り楽しく、有意義なロータリーライフが送れるように心掛けてまいりました。特にこのコロナ禍の中、多くの試練を乗り越えねばなりませんでした。幸いにして例会は1度の閉会もなくすべて滞りなく開催され、会員の笑顔とも会うことが出来ました。奉仕の基金プロジェクトコンペティションでは、社会福祉の団体に参加をして頂き参加した会員全員の投票にて活動資金の援助をする団体を決定いたしました。また、ピンクリボンかながわの活動では、乳がん撲滅を祈り市庁舎の壁面にキャンペーンのシンボルであるピンクリボンを映写いたしました。また、乳がん検診やチャリティーグッズの販売を行い、非常に大きな反響を呼びました。これもまた皆様のご協力があればこそであります。残り、5ヶ月余りではございますが会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 前田 会長

週報担当 永井 信利